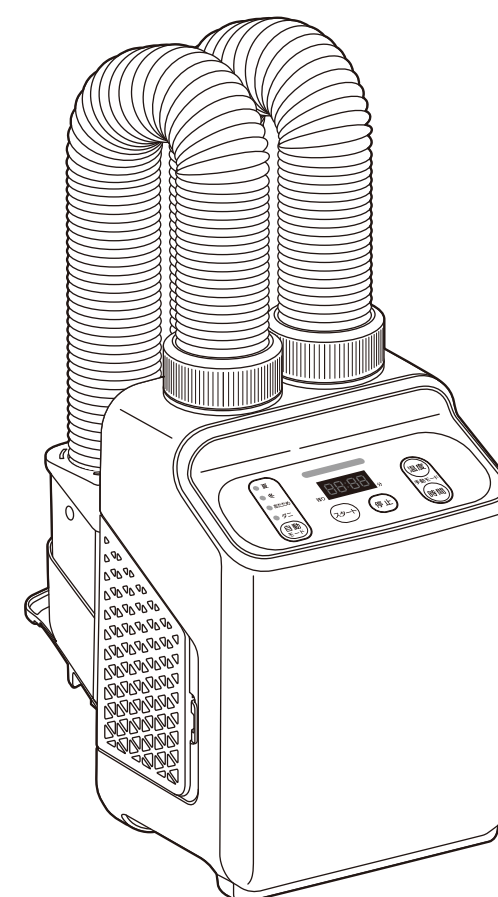


- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途で使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

ダブルノズルふとん乾燥機 KS-FK22T



もくじ

■ 安全上の注意	1～4
■ 各部の名称	5～6
■ 組み立てかた	6
■ 使用前の準備	7～9
■ 使いかた	
● 電源プラグをコンセントに差し込む	10
● 自動モードで運転する	
ふとんの乾燥	10～11
ふとんのあたたため	12
ふとんのダニ対策	13～14
● 使用後は	14
● 手動モードで運転する	15
くつの乾燥	16～17
● 使用後は	17
■ お手入れと保管	18～20
■ 仕様	20
■ 故障かな?と思ったら	21
■ 点検のお願い	22
■ アフターサービスについて	22
■ 保証書	裏表紙

この製品は、海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社ふとん乾燥機をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
- 使用する前に、この取扱説明書を必ずよく読み正しく安全に使用してください。
- 読んだあとは、大切に保管してください。

安全上の注意

使用する前に「安全上の注意」をよく読み、必ず守ってください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しく使用するためや、使用する人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

○記号は、禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。

●記号は、強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

※読んだあとは、使用する人がいつでも手に取れる場所に、必ず保管してください。



電源コード・電源プラグについて

電源プラグは、根元まで確実に差し込む
●発熱・感電・火災の原因になります。

電源コードや電源プラグが傷んでいたり、差し込みがゆるいときは使用しない
●ショート・感電・火災の原因になります。

破損、故障、異臭、異常があったり、電源コードや電源プラグが異常に熱くなるときは直ちに使用を中止する
●やけど・感電・火災の原因になります。
※故障・異常例
22ページの「点検のお願い こんな症状はありませんか？」を参照し、異常があるときは直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に点検や修理を依頼してください。

電源コードの上に重いものや本体をのせたり、挟み込まない
●ショート・感電・火災の原因になります。

交流100V以外で使用したり、コンセントや配線器具（延長コードなど）の定格を超える使いかたはしない
●タコ足配線などで、コンセントや配線器具の定格を超えると、異常発熱・火災の原因になります。

定期的に電源プラグのほこりをふき取る
●電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、ショート・感電・火災の原因になります。
◎電源プラグのほこりは、乾いたふきんでふき取る。

電源コードや電源プラグを傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねて使用しない
●ショート・感電・火災の原因になります。
◎結束バンドを必ずはずし、電源コードや延長コードを必ず伸ばして使用する。

本体に電源コードを巻きつけたり、巻きつけたまま使用しない
●ショート・感電・火災の原因になります。



設置について

水や蒸気が本体にかかる場所、水にぬれた場所、風呂場など湿気の多い場所に設置しない
●ショート・感電・火災の原因になります。

可燃性ガスや引火性のもの（ガソリンやシンナーなど）がある場所に設置しない
●爆発・火災の原因になります。
◎スプレー缶（ヘアスプレーや殺虫剤など）を本体の近くに置かない。

使用について

分解、修理、改造をしない
●やけど・感電・火災の原因になります。
※修理は、お買い上げの販売店に依頼してください。

子供や取り扱いに不慣れな方だけで使用しない
●乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない
●けが・やけどの原因になります。

すき間、放熱穴、吸気口、吹出口に金属物や可燃物などの異物を入れない
●ショート・感電・火災の原因になります。

必ず吸気フィルターを取りつけて使用する
●ほこりが本体内部に吸い込まれ、故障・火災の原因になります。

油や溶剤が付着したものを乾燥しない
●食用油、機械油、ガソリン、シンナー、ベンジンなどが付着したものや、ドライクリーニングをしたものを乾燥したり、あたためをすると、火災の原因になります。

本体をふとんの中に入れて使用しない
●過熱し、変形・火災の原因になります。

放熱穴、吸気口、吹出口をふさがない
●過熱し、変形・火災の原因になります。

ふとん乾燥などの使用中や使用直後は、ふとんに入らない
●やけどの原因になります。

ふとん乾燥やくつ乾燥などの使用中や使用直後は、ノズル、ホース、くつ乾燥アタッチメントに触れない
●やけどの原因になります。
◎特に乳幼児には、触らせないように注意する。







電気毛布や電気あんかなど、暖房機器と併用しない
●過熱し、変形・火災の原因になります。

送風冷却を停止させない
●本体内部に熱がこもり、変形・火災の原因になります。

持ち運ぶときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、十分冷めてからおこなう
●やけど・ショート・感電の原因になります。
◎使用中は、持ち運ばない。




警告

■ お手入れ・保管について



 お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く プラグを抜く ●やけど・ショート・感電の原因になります。	 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない ぬれ手禁止 ●ショート・感電の原因になります。
 お手入れは、十分冷めてからおこなう 指示に従う ●やけどの原因になります。	 本体を水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない 水ぬれ禁止 ●ショート・感電・火災の原因になります。
 吸気フィルターは、定期的にお手入れする 指示に従う ●ホコリなどで目詰まりすると、本体内部が異常に熱くなり、変形・火災の原因になります。	 包装用ポリ袋は、子供の手の届かない場所に保管する 指示に従う ●誤って顔にかぶったり、巻きついたりして窒息する原因になります。

注意

■ 電源コード・電源プラグについて














 使用後は、電源プラグをコンセントから抜く プラグを抜く ●感電・漏電火災の原因になります。	 電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない 禁止 ●ショート・感電・火災の原因になります。 ◎必ず電源プラグを持って引き抜く。
 電源コードを持って本体を引っ張らない 禁止 ●設置場所が傷ついたり、ショート・感電・火災の原因になります。	

■ 設置について




 火気や暖房器具の近くや上に設置しない 禁止 ●変形・火災の原因になります。 ◎高温になる場所に設置しない。	 直射日光が当たる場所に設置しない 禁止 ●変色・変形の原因になります。
 安定した水平な場所に設置する 指示に従う ●転倒や落下し、けが・やけどの原因になります。	 ほこりの多い場所に設置しない 禁止 ●故障・火災の原因になります。

注意

■ 使用について

 業務用に使用しない 禁止 ●無理な負担がかかり、破損・故障・火災の原因になります。	 ふとんの乾燥、あたため、ダニ対策、くつの乾燥以外の用途で使用しない 禁止 ●故障・火災の原因になります。
 犬や猫などがいる部屋で使用するときは、十分注意する 指示に従う ●本体や電源コードを傷め、故障・感電・火災の原因になります。 ◎犬や猫などの暖房やドライヤーとして使用しない。	 ホースを勢いよく（強く）引っ張ったり、曲げたりしない 禁止 ●破損・故障の原因になります。
 ホースやノズルをセットしたふとんにのらない 禁止 ●破損・けがの原因になります。	 ノズルを本体に収納したまま使用しない 禁止 ●変形・火災の原因になります。
 温風を家具や人に向けない 禁止 ●家具を傷めたり、やけどの原因になります。	 温風を鏡やガラス製品に向けない 禁止 ●割れたり、けが・やけどの原因になります。
 革ぐつ(合成皮革含む)は、温風で乾燥しない 禁止 ●くつを傷める原因になります。 ◎革ぐつは、送風で乾燥する。	 漂白剤の付着した寝具や、平干しや陰干しの絵表示のある寝具に使用しない 禁止 ●寝具が縮んだり変色するなど、寝具を傷める原因になります。
 熱に弱い素材を含む寝具やくつを乾燥するときは、十分注意する 指示に従う ●寝具やくつを傷める原因になります。 ※寝具やくつによっては、熱に弱い素材が使用されていることがありますので、乾燥するものの耐熱温度や注意書きをよく確認してから乾燥してください。 本製品は、約65℃の温風が出ます。	 落としたり、強い衝撃を与えない 禁止 ●破損・故障・けがの原因になります。
	 持ち運ぶときは、本体底面をしっかり持っておこなう 指示に従う ●破損・故障・けがの原因になります。 ◎ホースを持って本体を引っ張ったり、持ち運んだりしない。

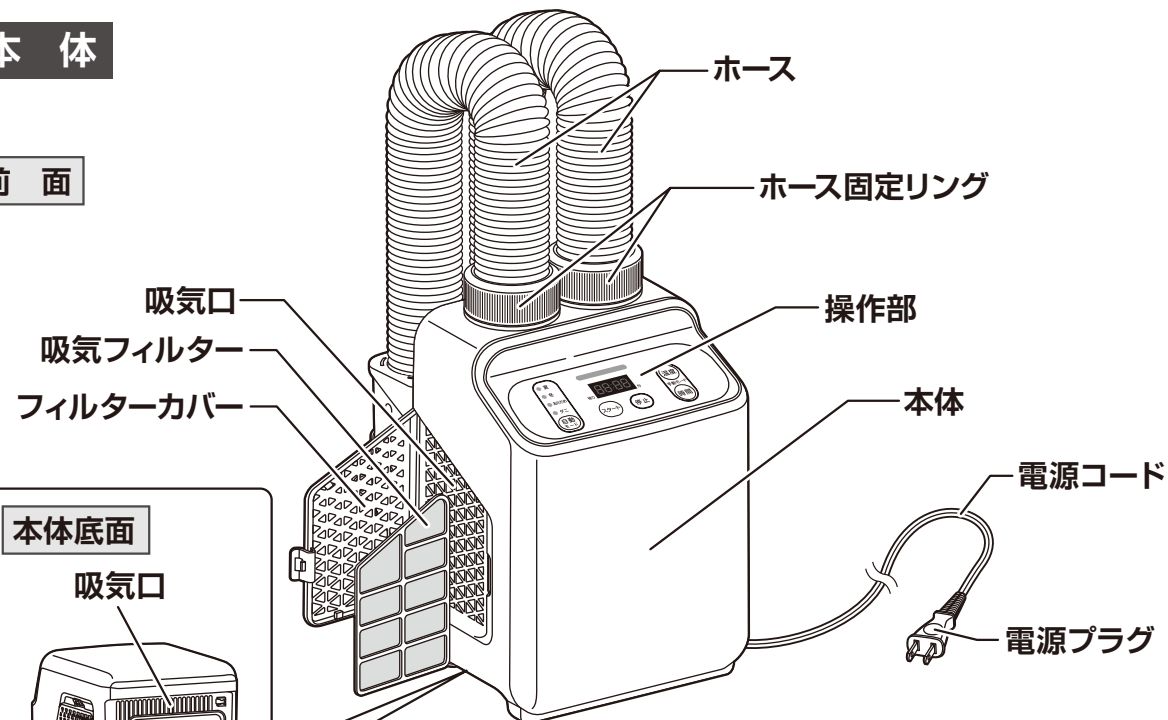
■ お手入れ・保管について

 本体に腰かけたり、重いものをのせない 禁止 ●変形・破損・故障の原因になります。	 掃除用、整髪用、殺虫剤などのスプレーを吹きつけない 禁止 ●変色・変質・破損の原因になります。
 お手入れにはシンナー、ベンジン、みがき粉、たわし、化学ぞうきんなどは使用しない 禁止 ●変色・変質・破損の原因になります。 ◎お手入れは18～20ページの「お手入れと保管」を参照する。	

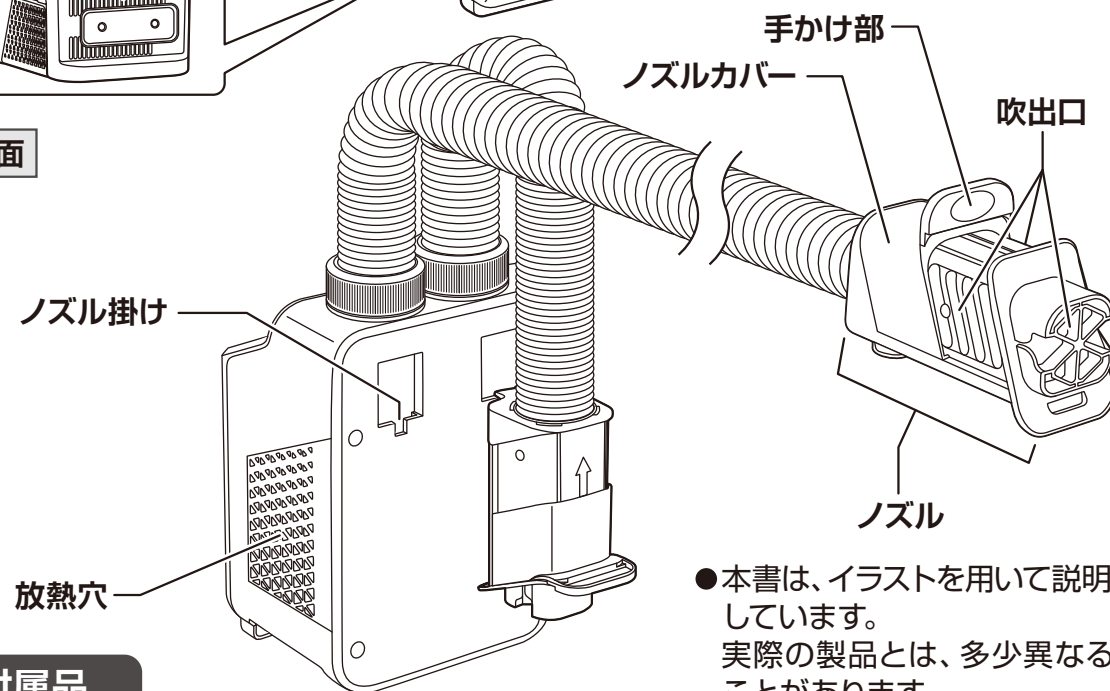
各部の名称

本体

前面



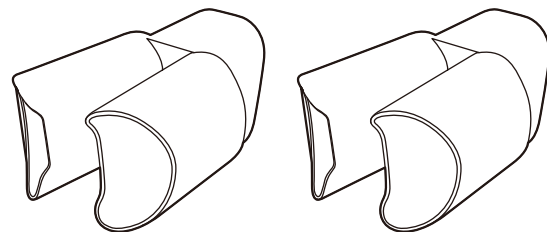
背面



付属品

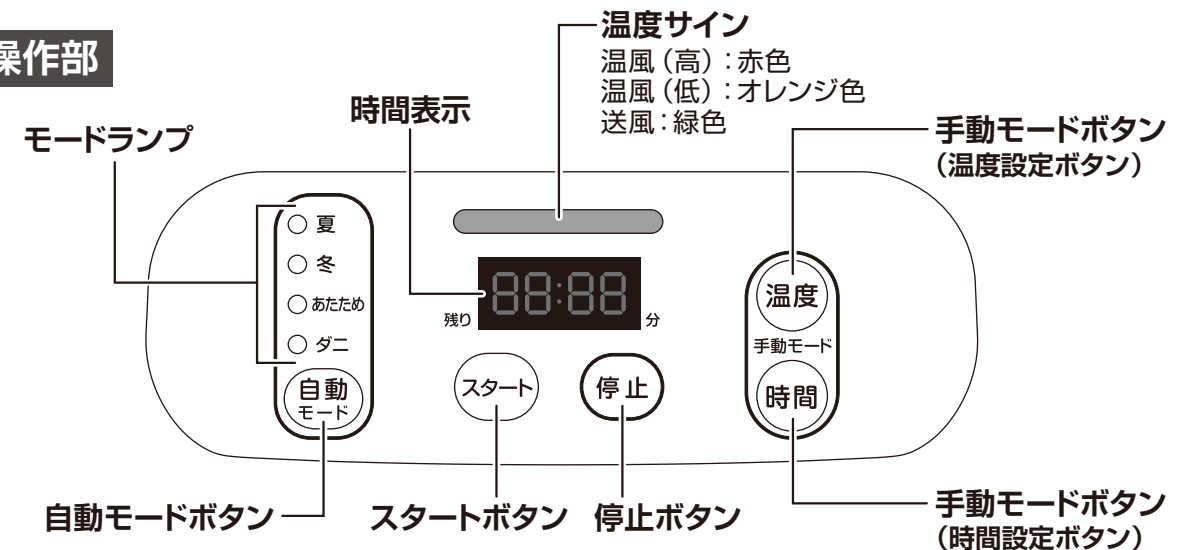
くつ乾燥アタッチメント × 2枚

●くつの乾燥に使用します。



各部の名称


操作部

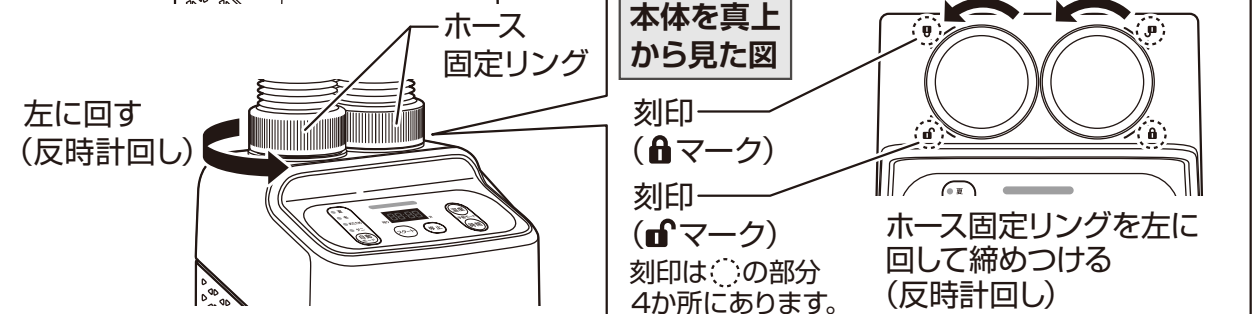


※ボタンは、2つ以上同時に押さないでください。 ●操作部は、線書きで表現しています。実際のデザインとは異なります。

組み立てかた

本体にホースを取りつける

- ホース固定リングを持ち上げ、ホース先端を本体吹出口に合わせて押しあてます。
- ホース先端を押しあてながら、ホース固定リングを本体吹出口にかぶせ、止まるまで左に回してホースを確実に固定します。(本体上面に刻印してある「」マーク側の矢印の方向に回す)



使用前の準備

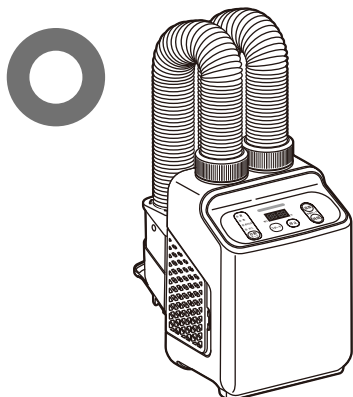
設置する

本体を設置するときの注意

※本体を設置するときは、下図の向きで設置してください。

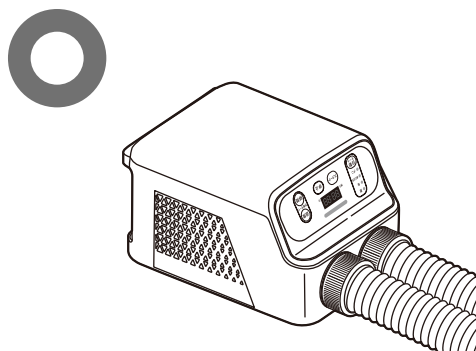
縦向きに設置するとき

- 本体底面（下面）を下にして設置します。

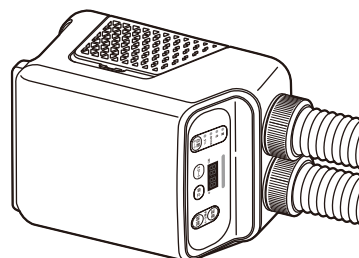


横向きに設置するとき

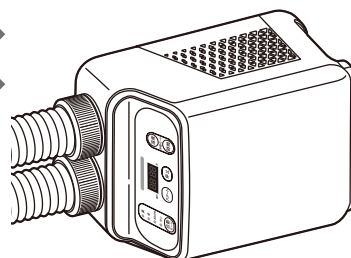
- 本体背面を下にして設置します。



※下図のように本体側面の放熱穴や吸気口を下にして設置しないでください。



放熱穴を下にする



吸気口を下にする

エラー表示について



- 本体右側面の放熱穴側に、本体を倒した状態で電源を入れたり、運転中に放熱穴側に本体を倒すと、時間表示に「E2」とエラーが表示され、運転が停止します。
- エラー表示中は、「ピーピーピー」と音が継続して鳴り、温度サインが赤色点滅します。
- 本体を正しい向きにすると、エラーが解除されます。エラー解除時は、電源OFF状態になりますので、運転するときはいずれかのボタンを押して運転します。

使用前の準備

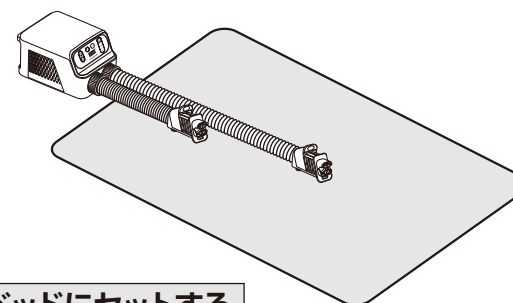
設置する つづき

敷きふとんにノズルをセットする

2本のノズルで、乾燥やあたためをすることができます。

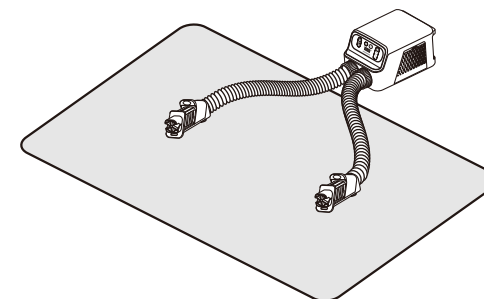
ふとんの頭側からセットする

- 敷きふとんの頭側に、背面を下にして本体を設置します。
- 片方のホースは伸ばし、もう片方のホースは縮めたままノズルをセットします。



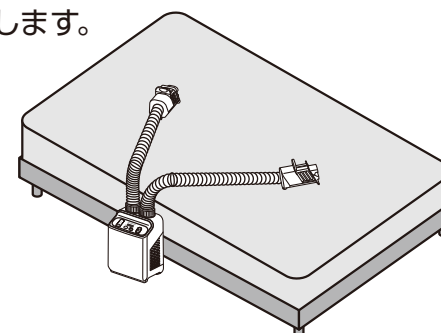
ふとんの横側からセットする

- 敷きふとんの横側に、背面を下にして本体を設置します。
- 頭側と足元側にノズルをセットします。



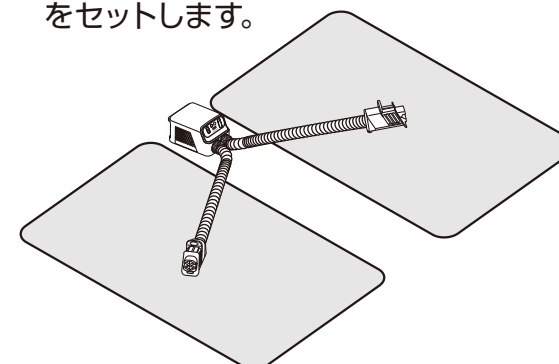
ベッドにセットする

- ベッドの横側に、縦向きに本体を設置します。
- 頭側と足元側にノズルをセットします。
- ノズルが届かないときは、安定した台に本体を設置して、ふとんと同じ高さになるようにします。



2枚同時にセットする

- 敷きふとんを2枚並べた間に、背面を下にして本体を設置します。
- できるだけ敷きふとんの中央にノズルをセットします。



注意

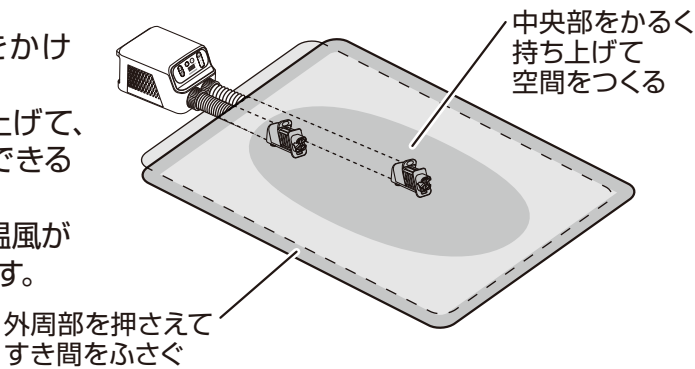
- ※梅雨時期や湿気の多いふとん（長い間使用していないなど）を乾燥したり、フローリング、タイル、クッションフロアなどの上でふとんを乾燥すると、床と敷きふとんの間に湿気がこもって結露することがありますので、大きめのタオルケットなどを敷きふとんの下に敷いてください。
- ※ふとんに含まれている湿気は、室内に放出されますので窓を開けて、換気をしてください。
- ※壁などから、本体を十分離して設置してください。

使用前の準備

設置する つづき

掛けふとんをかける

- 敷きふとんの上に掛けふとんをかけます。
- 掛けふとんの中央をかるく持ち上げて、敷きふとんと掛けふとんの間にできるだけ空間をつくります。
- 掛けふとんの外周部を押さえて、温風が漏れないようにすき間をふさぎます。



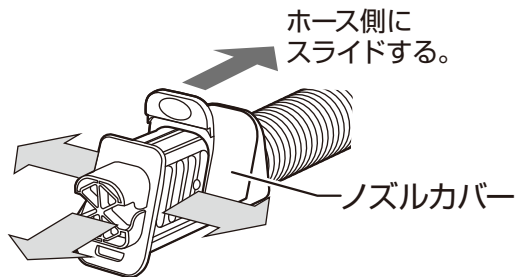
注意

※本体に掛けふとんが、かからないように注意してください。
放熱穴や吸気口がふさがれると過熱し、本体の変形・火災の原因になります。
※敷きふとんだけでは乾燥できませんので、必ず掛けふとんをかけてください。

ノズルに関するお知らせ

- ノズルカバーを開閉することで、温風の吹き出す方向をかえることができます。

ノズルカバーを開けた状態



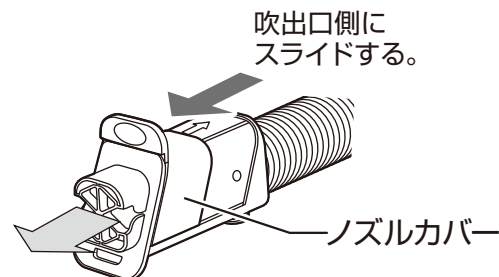
3方向に温風が出ます。

- ノズルカバーをホース側にスライドさせて開けます。
- ふとんの乾燥、あたため、ダニ対策時はノズルカバーを開けて使用します。

注意

※ノズルカバーをスライドするときは、指を挟まないように注意してください。
けがの原因になります。

ノズルカバーを閉じた状態



1方向に温風が出ます。

- ノズルカバーを吹出口側にスライドさせて閉じます。
- くつの乾燥時は、ノズルカバーを閉じて使用します。

使いかた

電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグを根元まで、確実にコンセントに差し込みます。



結束バンドを必ずはずし
電源コードを必ず伸ばす

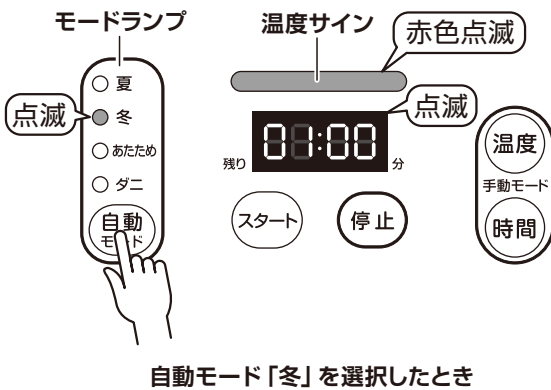
注意

※はじめて使用するとき、においが出ることがありますが、故障や異常ではありません。
においは、使用にともない出なくなりますが、気になるときは換気扇を回したり、窓を開けるなどして十分換気をおこなってください。

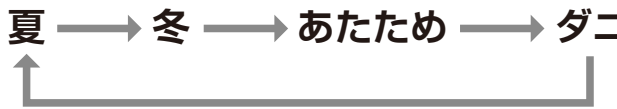
自動モードで運転する ふとんの乾燥〔夏モード、冬モード〕

あらかじめプリセットされている設定で、自動運転するモードです。

モードを設定する



- 自動モードボタンを押します。
(どのボタンを押しても、電源がONになります)
- 夏モード選択中の状態で、電源がONになります。
- 自動モードボタンを押し、夏モードまたは冬モードを選択します。
- ボタンを押すごとに「ピッ」と音が鳴り、モード選択が下図のようにかわります。
- モードランプを見ながら選択します。

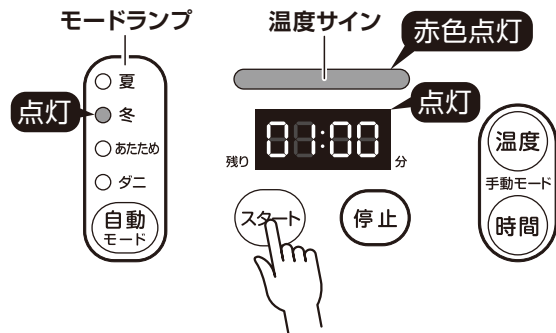


モードの種類	用途	時間表示	運転時間
夏	暑い季節にふとんを乾燥するとき ●温風(高)で乾燥したあと、送風でふとんの熱気を冷ましてから運転を終了します。	00:20	温風(高) 1時間 + 送風 20分
冬	寒い季節にふとんを乾燥するとき ●温風(高)で乾燥したあと、運転を終了します。	00:00	温風(高) 1時間

使 いかた

自動モードで運転する ふとんの乾燥〔夏モード、冬モード〕つづき

運転する



自動モード「冬」で運転を開始したとき

- スタートボタンを押します。
- モードランプ、温度サイン、時間表示が点灯に
かわり、運転を開始します。
- 時間表示に、運転終了までの残り時間を表示
します。 ※1
- 運転が終了すると「ピー」と音が鳴り、送風冷却
を20秒間おこなってから、電源がOFFになり
ます。

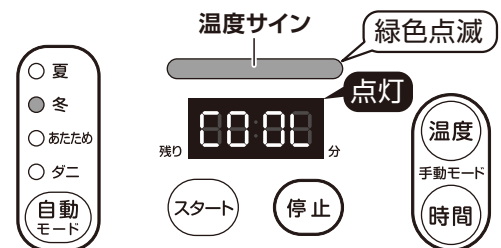
〔運転を途中で停止するときは〕

- 運転中に停止ボタンを押します。
- 「ピー」と音が鳴り、送風冷却をおこ
なってから、電源がOFFになります。

お知らせ

- おねしょや雨などでぬれたふとは、完全に乾燥することはできません。
- 運転中に本体内部で「カチッ」と音がすることがありますが、電子部品の動作音で
異常ではありません。
- 自動モード運転中は、停止ボタン以外のボタン操作を受けつけません。
- モード選択後にスタートボタンを押さずに5分間経過すると、自動的に電源がOFFに
なります。

※1 送風冷却について



- 運転が終了したときや運転を途中で停止した
ときは、本体内部を冷却するため「ピー」と音
が鳴り、送風冷却を20秒間おこないます。
- 送風冷却中は、時間表示に「C00L」と表示
され、温度サインが緑色点滅します。
- 送風冷却が終了すると、すべての表示が消灯し
電源がOFFになります。

注意

※運転中や送風冷却中に、電源プラグを抜かないでください。
本体内部に熱がこもり、本体の変形・火災の原因になります。

お知らせ

- 送風冷却中は、すべてのボタン操作を受けつけません。
- 夏モードを設定したときは、運転終了前にふとんの熱気を冷ますために送風運転
をおこないますので、本体内部を冷却するための送風冷却はおこないません。
また、手動モードで温度を送風に設定したときも、運転終了前の送風冷却はおこな
いません。

使 いかた

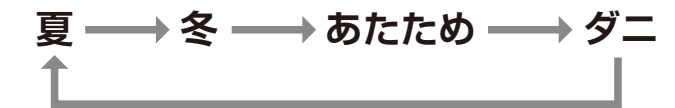
自動モードで運転する ふとんのあたため

モードを設定する



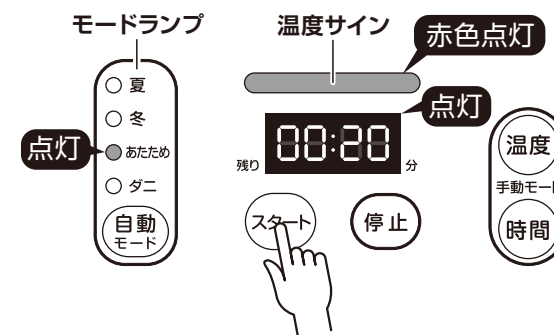
自動モード「あたため」を選択したとき

- 自動モードボタンを押します。
(どのボタンを押しても、電源がONになります)
- 夏モード選択中の状態で、電源がONになります。
- 自動モードボタンを押し、あたためモードを
選択します。
- ボタンを押すごとに「ピッ」と音が鳴り、モード
選択が下図のようにかわります。
- モードランプを見ながら選択します。



モードの種類	用途	時間表示	運転時間
あたため	寒い季節の就寝前にふとんをあたためたいとき ●温風(高)であたためたあと、運転を 終了します。	00:20	温風(高) 20分

運転する



自動モード「あたため」で運転を開始したとき

- スタートボタンを押します。
- モードランプ、温度サイン、時間表示が点灯に
かわり、運転を開始します。
- 時間表示に、運転終了までの残り時間を表示
します。
- 運転が終了すると「ピー」と音が鳴り、送風冷却
を20秒間おこなってから、電源がOFFになり
ます。

〔運転を途中で停止するときは〕

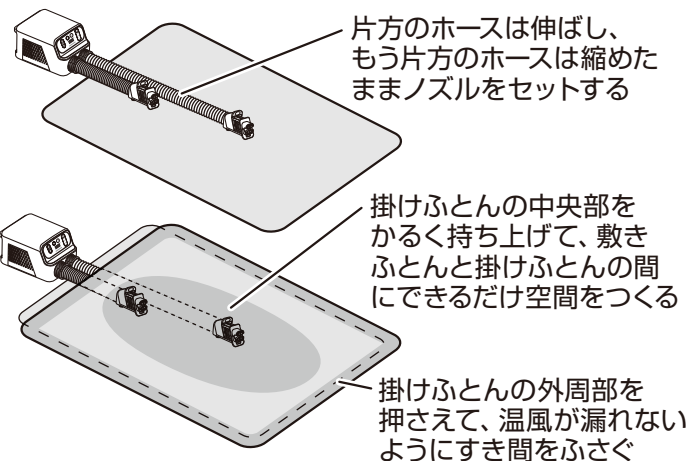
- 運転中に停止ボタンを押します。
- 「ピー」と音が鳴り、送風冷却をおこ
なってから、電源がOFFになります。

使いかた

自動モードで運転する ふとんのダニ対策

敷きふとんにノズルをセットする

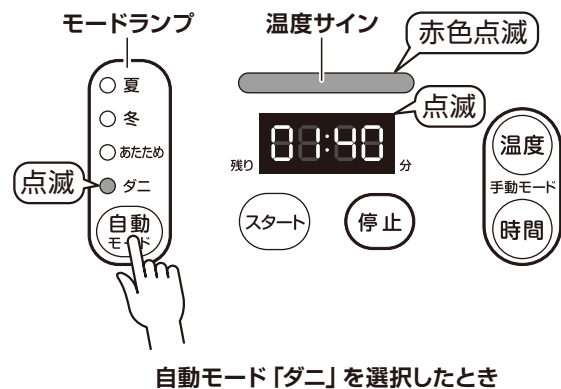
- 敷きふとんの頭側に、背面を下にして本体を設置します。



掛けふとんをかける

- 敷きふとんの上に掛けふとんをかけます。

モードを設定する

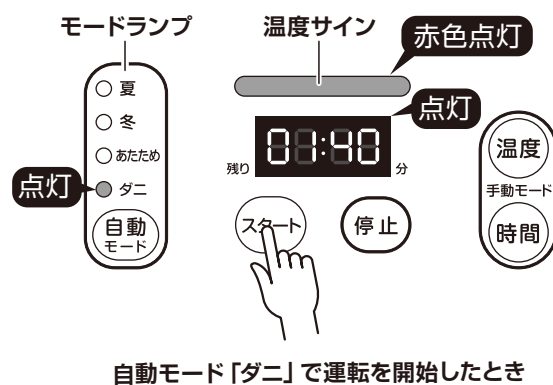


- 自動モードボタンを押します。(どのボタンを押しても、電源がONになります)
- 夏モード選択中の状態で、電源がONになります。
- 自動モードボタンを押し、ダニモードを選択します。
- ボタンを押すごとに「ピッ」と音が鳴り、モード選択が下図のようにかわります。
- モードランプを見ながら選択します。

夏 → 冬 → あたため → ダニ

モードの種類	用途	時間表示	運転時間
ダニ	ふとんのダニ対策をしたいとき ●温風(高)でダニ対策をしたあと、運転を終了します。	01:40	温風(高) 1時間40分

運転する



- スタートボタンを押します。
- モードランプ、温度サイン、時間表示が点灯にかわり、運転を開始します。
- 時間表示に、運転終了までの残り時間を表示します。
- 運転が終了すると「ピー」と音が鳴り、送風冷却を20秒間おこなってから、電源がOFFになります。

〔運転を途中で停止するときは〕

- 運転中に停止ボタンを押します。
- 「ピー」と音が鳴り、送風冷却をおこなってから、電源がOFFになります。

使いかた

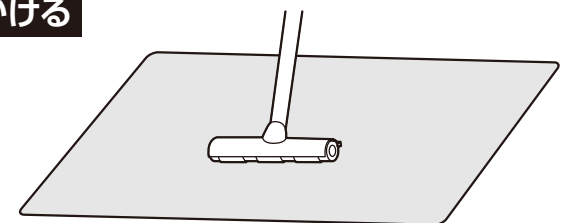
自動モードで運転する ふとんのダニ対策 つづき

お知らせ

- ふとんの種類、素材、大きさ、湿り具合などの状況や冬季で室温が低いなどの環境によっては、ダニ対策が十分できないことがあります。
- ふとんの隅など、温風が届きにくい場所やダニの種類によっては、ダニ対策が十分できないことがあります。
- ダニは乾燥状態に弱いので、こまめにダニ対策をおこなうと繁殖防止になります。
- ダニ対策は、ふとんの表裏両面おこなうとより効果的です。

運転が終了したら ふとんクリーナーをかける

- 敷きふとんと掛けふとんの表裏両面ともふとんクリーナーなどで、ダニの死がいやフンを吸い取ります。

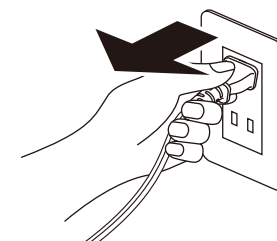


注意

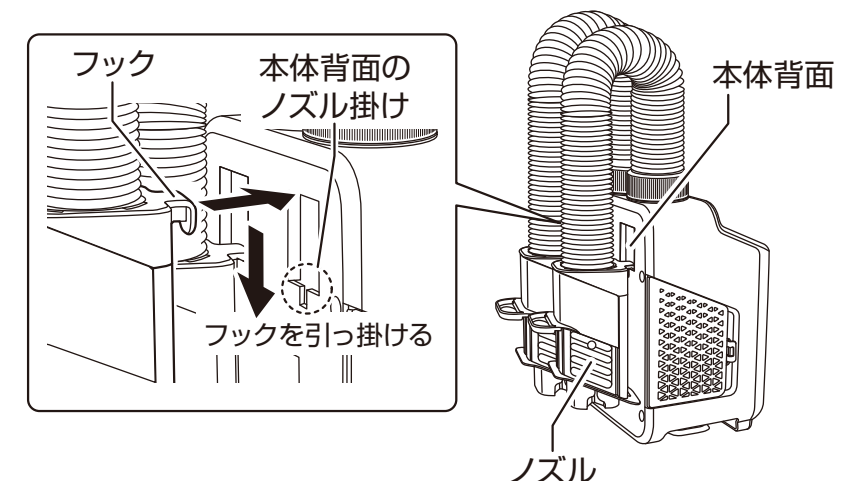
- ※ダニの死がいやフンもアレルギー疾患の誘因になりますので、ダニ対策をおこなったらふとんクリーナーなどで、ダニの死がいやフンを吸い取ってください。

使用後は

- 運転が終了して電源がOFFになったら、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 本体背面にあるノズル掛けに、ノズルのフックを引っ掛けてノズルを収納します。



すべての表示が消灯してから
電源プラグを抜く

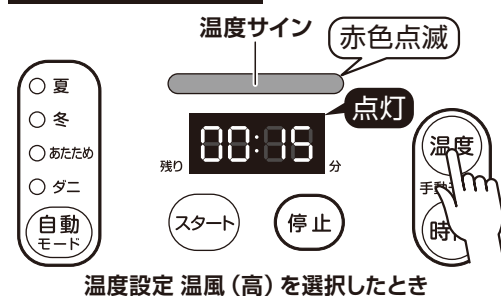


使 いかた

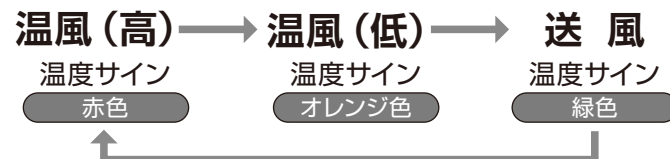
手動モードで運転する

お好みで温度や時間の設定を選んで、ふとんの乾燥などができるモードです。
温度設定や時間設定ボタンを押すと、最初は自動モード「夏」を選択中の状態で電源がONになります。

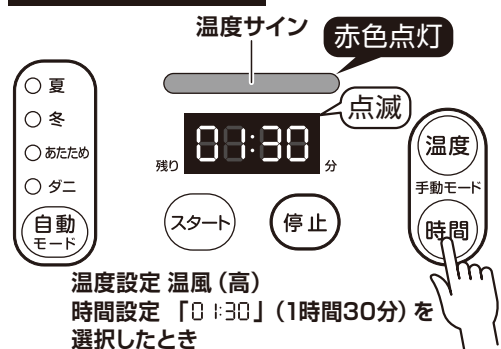
温度を設定する



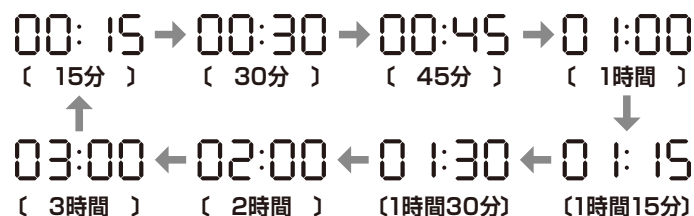
- 電源がONの状態ですべての温度設定ボタンを押します。
- ボタンを押すごとに「ピッ」と音が鳴り、温度設定が下図のようになります。
- 温度サインを見ながら設定します。



時間を設定する



- 電源がONの状態ですべての時間設定ボタンを押します。
- ボタンを押すごとに「ピッ」と音が鳴り、時間設定が下図のようになります。
- 時間表示を見ながら設定します。



運転する



- 温度と時間を設定したら、スタートボタンを押します。
- 時間表示が点灯にかわり、運転を開始します。
- 時間表示に、運転終了までの残り時間を表示します。
- 運転が終了すると「ピー」と音が鳴り、送風冷却を20秒間おこなってから、電源がOFFになります。

〔運転を途中で停止するとき〕

- 運転中に停止ボタンを押します。
- 「ピー」と音が鳴り、送風冷却をおこなってから、電源がOFFになります。
(温度設定を送風に設定したときは、送風冷却は起こりません)

お知らせ

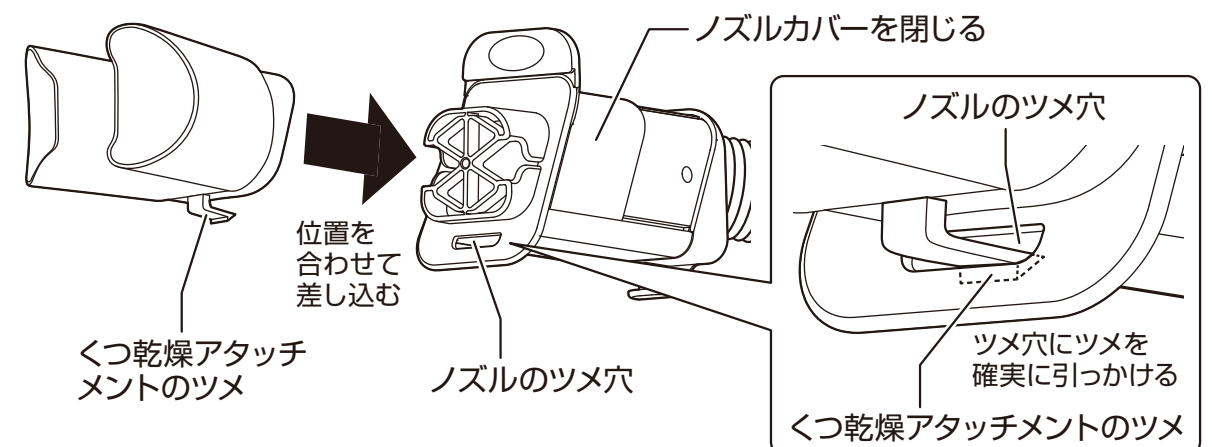
- 手動モード運転中は、温度設定ボタン、時間設定ボタン、停止ボタン以外のボタン操作を受けつけません。
- 運転中に設定を変更するときは、温度設定ボタン、時間設定ボタンを押して設定を変更したあと、スタートボタンを押します。
スタートボタンを押さずに5秒間経過すると、変更した設定内容は破棄されます。

使 いかた

手動モードで運転する くつの乾燥

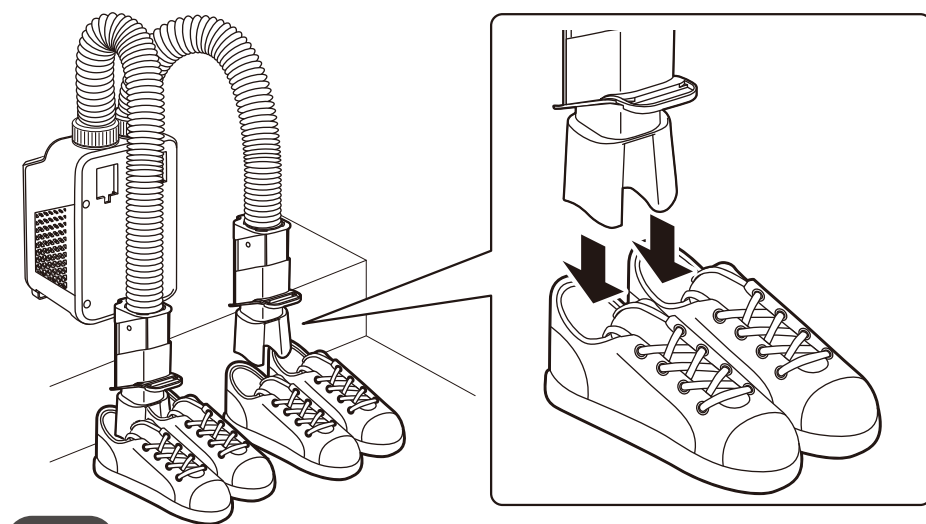
くつ乾燥アタッチメントを取りつける

- ノズルカバーを閉じます。
- くつ乾燥アタッチメントのツメとノズルのツメ穴の位置を合わせて、くつ乾燥アタッチメントをノズルに差し込みます。
- くつ乾燥アタッチメントのツメをノズルのツメ穴に確実に引っかけて固定します。
- ノズル2本とも、くつ乾燥アタッチメントを取りつけます。



くつ乾燥アタッチメントをセットする

- くつ乾燥アタッチメントの二股になっている先を、それぞれくつに入れます。
もう1足も同じように入れます。



注意

- ※セットする前に乾いたふきんで、くつの表面や内側の水分をふき取ってください。
- ※くつひもは、結び目をほどいてくつの内側に入れてください。

使 いか た

手動モードで運転する くつの乾燥 つづき

温度と時間を設定する

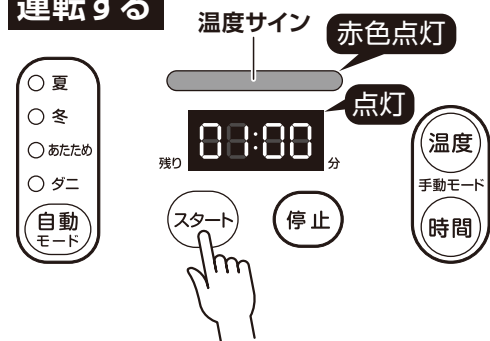
- 下記の温度設定と時間設定の目安を参考にし、温度と時間を設定してから運転します。
- ※ 設定方法は、15ページの「手動モードで運転する」を参照してください。

■ 温度設定と時間設定の目安

くつの種類	温度	時間
上ばき	温風(高)	15分
長ぐつ	温風(高)	30分
運動ぐつ	温風(高)	1時間
革ぐつ	送風	2時間

- 上記の運転時間は1足で乾燥したときの目安です。

運転する



温度を温風(高)、運転時間を「01:00」(1時間)で運転を開始したとき

- 温度と時間を設定し、スタートボタンを押します。
- 時間表示が点灯にかわり、運転を開始します。
- 時間表示に、運転終了までの残り時間を表示します。
- 運転が終了すると「ピー」と音が鳴り、送風冷却を20秒間おこなってから、電源がOFFになります。
- ※ 乾きが悪いときは、必要に応じて追加運転をおこなってください。

〔運転を途中で停止するときは〕

- 運転中に停止ボタンを押します。
- 「ピー」と音が鳴り、送風冷却をおこなってから、電源がOFFになります。

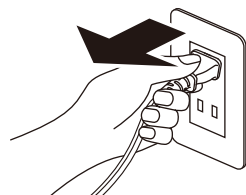
注意

- ※ 革ぐつは、送風で乾燥してください。(温風での乾燥は、おこなわない)
- ※ カバー付きの長ぐつを乾燥するときは、カバーをしめずに開けた状態で乾燥してください。



使用後は

- 運転が終了して電源がOFFになったら、電源プラグをコンセントから抜きます。
- くつの乾燥をおこなったときは、ノズルからくつ乾燥アタッチメントを取りはずします。
- 14ページの「使用後は」を参照し、ノズルを収納します。



すべての表示が消灯してから
電源プラグを抜く

お手入れと保管

放熱穴、フィルターカバー、吸気フィルター、吸気口がほこりなどで目詰まりすると、性能低下や火災の原因になります。

※こまめにお手入れをしてください。

※お手入れをするときは、けがを防止するためゴム手袋を着用してください。

⚠ 警告



お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
● やけど・ショート・感電の原因になります。



お手入れは、十分冷めてからおこなう
● やけどの原因になります。

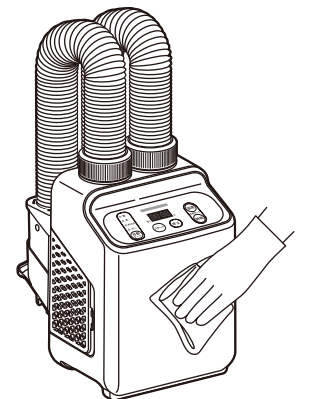
必ずお守りください

※ 吸気フィルターの取りはずしや取り付け、お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜いて、本体が十分冷めてからおこなってください。

本体、ホース、ノズル (1~2か月に1回程度) ●丸洗いできません。

お手入れのしかた

- 乾いた柔らかいふきんで、ほこりや汚れをふき取ります。
- 落ちにくいほこりや汚れは、水やぬるま湯で薄めた中性洗剤に柔らかいふきんを浸し、よくしぼってふき取ります。
- 乾いた柔らかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。

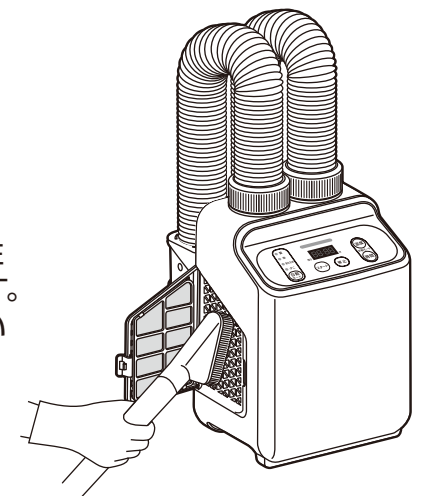


フィルターカバー、吸気口 (1か月に1回) ●丸洗いできません。

お手入れのしかた

※ 吸気フィルターの取りはずしかたは、19ページを参照してください。

- 掃除機のソフトブラシで、ほこりを吸い取ります。
- 乾いた柔らかいふきんで、ほこりや汚れをふき取ります。
- 落ちにくいほこりや汚れは、水やぬるま湯で薄めた中性洗剤に柔らかいふきんを浸し、よくしぼってふき取ります。
- 乾いた柔らかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。



お願い

※ 使用頻度やほこりの付着具合で、お手入れの回数を増やしてください。

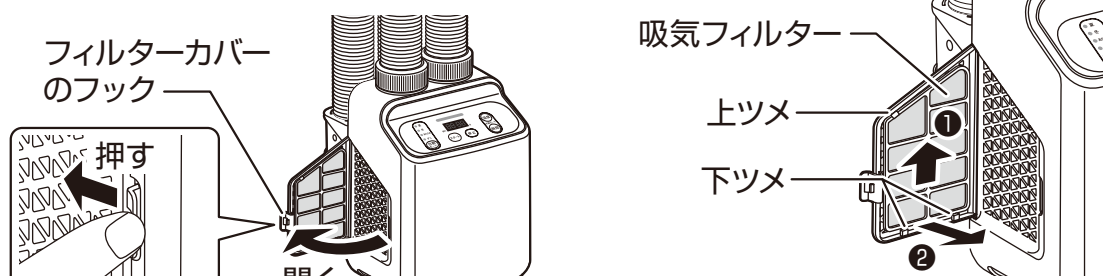
お手入れと保管

吸気フィルター（1か月に1回）

●丸洗いができます。

吸気フィルターの取りはずしかた

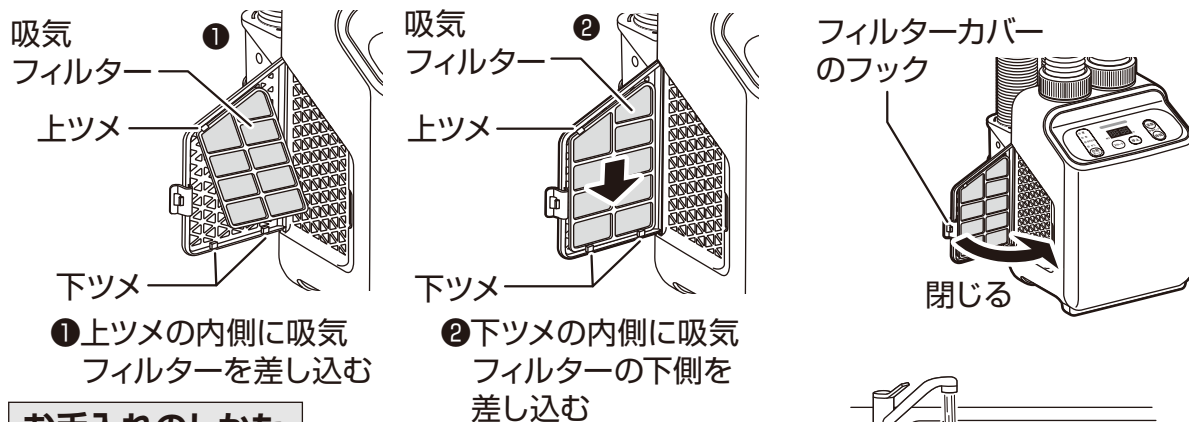
- フィルターカバーのフックを本体背面側に押して、フィルターカバーを開きます。（本体背面側に開きます）
- 吸気フィルターを押し上げ、フィルターカバー内側の下ツメから、吸気フィルターをはずします。



- ①吸気フィルターを押し上げる
- ②吸気フィルター下部を手前に引き出して下ツメからはずす

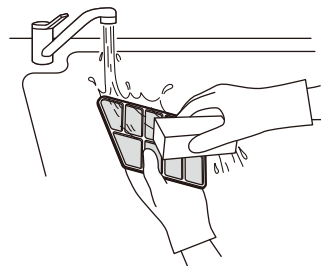
吸気フィルターの取り付けかた

- フィルターカバー内側にある上ツメの内側に吸気フィルターを差し込んだあと、下ツメの内側に吸気フィルターの下側を差し込みます。
 - フィルターカバーを閉じてフックを確実に押し込みます。
- ※お手入れ後は、必ず吸気フィルターをもとどおりに取りつけてください。



お手入れのしかた

- 掃除機のソフトブラシで、ほこりを吸い取ります。
- 柔らかいスポンジに、中性洗剤を含ませて水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流し、乾いた柔らかいふきんで水分をふき取って、十分乾燥させます。



⚠ 警告

- ❗ 吸気フィルターは、定期的にお手入れする
- ホコリなどで目詰まりすると、本体内部が異常に熱くなり、変形・火災の原因になります。

お願い

※使用頻度やほこりの付着具合で、お手入れの回数を増やしてください。

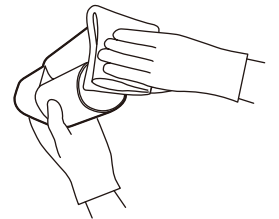
お手入れと保管

くつ乾燥アタッチメント（1か月に1回）

●丸洗いができます。

お手入れのしかた

- 乾いた柔らかいふきんで、ほこりや汚れをふき取ります。
- 落ちにくいほこりや汚れは、水やぬるま湯で薄めた中性洗剤に柔らかいふきんを浸し、よくしぼってふき取ります。または柔らかいスポンジに、中性洗剤を含ませて水洗いします。
- 乾いた柔らかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。または洗剤が残らないように水で洗い流し、乾いた柔らかいふきんで水分をふき取って、十分乾燥させます。



保管

- 保管の前は、必ずお手入れをします。
- お手入れ後は、よく乾燥させてからポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。（湿ったまま保管すると、カビの発生、異臭、故障の原因になります）

注意

※電源コードの根元を曲げたり、電源コードや電源プラグに力が加わるような状態で、保管しないでください。
異常発熱・ショート・火災の原因になります。

仕様

電 源	AC 100V (50-60Hz共用)
消 費 電 力	760W
製品寸法(約)	幅: 190mm×奥行: 255mm×高さ: 400mm (ノズル収納時)
製品質量(約)	2.6kg
コード長(約)	1.9m
安 全 装 置	横転検知(放熱穴側のみ) 温度ヒューズ、電流ヒューズ、サーモスタット(温度過昇防止装置)
付 属 品	くつ乾燥アタッチメント2個

- 製品の仕様や外観などは、改善などのため予告なく変更することがあります。

故障かな？と思ったら

※お問い合わせや修理を依頼される前に、下記を確認してください。

症 状	原 因	処置 または お知らせ
電源が入らない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	●電源プラグを根元まで、確実にコンセントに差し込んでください。
運転しない 「E 2」が表示されている	●本体右側面の放熱穴側に、本体を倒した状態で電源を入れたり、運転中に放熱穴側に本体を倒していませんか？	●本体右側面の放熱穴側に、本体を倒した状態で電源を入れたり、運転中に放熱穴側に本体を倒すと、時間表示に「E 2」とエラーが表示され、運転が停止します。 本体を正しい向きにすると、エラーが解除されて運転できるようになります。 詳しくは、7ページの「エラー表示について」を参照してください。
運転しない 「E 3」が表示されている	—————	●時間表示に「E 3」が表示されたときは、故障が考えられます。 電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
温風が出ない	●手動モードで温度設定を送風に設定していませんか？	●自動モードに設定するか、手動モードで温度設定を温風（高）または温風（低）に設定してください。
ふとんが乾燥しない あたたまらない	●ふとんを複数枚重ねていませんか？	●敷きふとんと掛けふとんを1枚ずつにしてください。
	●掛けふとんの周囲にすき間ができて温風が漏れていませんか？	●掛けふとんの周囲を押さえ、温風が漏れないようにすき間をふさいでください。
	●放熱穴、フィルターカバー、吸気フィルター、吸気口がほこりなどで目詰まりしていませんか？	●18～20ページの「お手入れと保管」を参照し、お手入れをしてください。
くつが乾燥しない	●ノズルにくつ乾燥アタッチメントが確実に取り付けられていますか？	●ノズルにくつ乾燥アタッチメントを確実に取りつけてください。
	●くつ乾燥アタッチメントの先端がふさがれた状態になっていませんか？	●くつ乾燥アタッチメントの先端がふさがれると十分乾燥できませんので、そのような状態にならないようにセットしてください。
	●放熱穴、フィルターカバー、吸気フィルター、吸気口がほこりなどで目詰まりしていませんか？	●18～20ページの「お手入れと保管」を参照し、お手入れをしてください。

点検のお願い

安全に長く愛用していただくために
日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - 電源コードや電源プラグに、深い傷や被覆破れがある。
 - 電源プラグが変形している。
 - 電源コードを動かすと、電源がOFFになったり、ONになったりする。
 - 異常な音がする。
 - こげ臭いなどの異臭がする。
 - 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
 - その他の破損・故障・異常がある。
- 電源プラグやコンセントに、ほこりやごみが付着している。

★異常があれば

使用中止 !!

故障や事故防止のため
停止ボタンを押し、電源
プラグをコンセントから
抜いて、必ず販売店に点検・
修理を依頼してください。

ほこりやごみを取り除いてください。

アフターサービスについて

- この製品は、保証書がついています。
お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入を受けてください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。
保証期間中の修理は、お買い上げの販売店に依頼してください。
保証書の記載内容により、修理いたします。
その他詳細は、保証書を参照してください。
- 保証期間経過後の修理（有料）については、お買い上げの販売店に依頼してください。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- サービスパーツについて
吸気フィルターやくつ乾燥アタッチメントなどのサービスパーツについては、お買い上げの販売店に、お問い合わせください。

■ 使いかたやお手入れなどのお問い合わせは、下記へ

本製品についての取り扱いや、お手入れ方法のお問い合わせ、転居されたり贈答品などで、販売店に修理の依頼ができない場合は右記へお問い合わせください。

山善 家電お客様サービス係

ナビダイヤル 0570-077-078

※PHS、IP電話など一部の電話からは、利用できません。
受付時間：10：00～17：00（土・日・祝日を除く）

FAXまたはEメールでのお問い合わせも受け付けています。
その際は、商品名・品番・お問い合わせ内容・お名前・電話番号を記入のうえ、お問い合わせください。

●FAXでの
お問い合わせは 0120-680-287

●Eメールでの
お問い合わせは info_m@yamazen.co.jp

※お問い合わせのときは、保証書に記載の商品名・品番をお知らせください。

個人情報の取り扱いについて
株式会社 山善およびその関係会社は、お客様の個人情報やお問い合わせ内容を、お問い合わせへの対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

S-220927